



健康情報を集める・伝える・貯める・活かす

創業事業にかける経営者の想い

データヘルスは、社会的課題である医療・ヘルスケアの効率化・質の向上に大きく貢献すると期待されています。また、改定個人情報保護法により、企業規模によらず個人情報の取り扱いに格段の慎重さが求められており、より安全・安心のデータ蓄積が共通の課題となっています。

弊社は、「北大発ベンチャー認定企業（No.13）」として、本格的なIoT時代を見据え、ICT先端技術や医療・ヘルスケア業界の知見を基に、健康・生活情報はじめとする多様な情報の取得・貯蓄・配付に必要な商品・サービス企画、ソリューション提案、エコシステム構築、プロモーション、及びコンサルティング等を、顧客視点で実施並びに支援します。そして、現在の医療・ヘルスケア・介護領域だけでなく、今後の情報（信託）銀行等の、個人が自らの健康情報活用で利益を実感する、より安心・安全な「健康情報流通社会」の実現に貢献したいと願っています。

技術・サービスの特徴

弊社が提唱・提供する技術・サービス等は下記の通りです。

【1】利用者本人許諾により、IoTセンサ測定データ等、スマートフォン内外の健康・生活（行動）情報を統合しライフログを作成・可視化する「健康情報統合システム

"miruWS[®]"（ミルウス）」

【2】健康・生活情報を、秘匿領域を有する電子証明書対応のSDメモリーカードに、デジタル署名付きの暗号化データとして貯蓄し、真正性を保証する「健康情報貯金箱

"miParu[®]"（ミパル）」

【3】"miruWS[®]"で統合し"miParu[®]"に貯蓄した多様な健康・生活情報に、有効期限等使用制限に関わる制御情報を付加。利用時には、公的認証機関による電子証明書付データとして、利用者本人主導により、活用希望事業者やAI等解析サービス、情報（信託）銀行等に配付する「健康情報管理プラットフォーム"健康情報通帳[®]"」

今後の事業展開

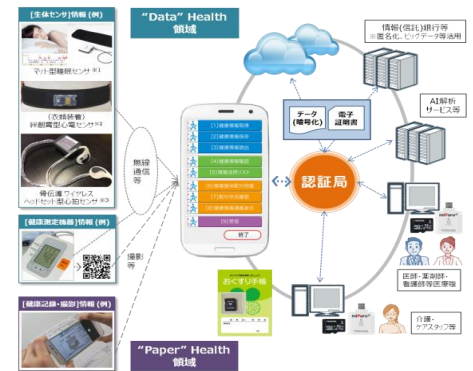
2030年には、国民全員が多様な健康情報を負担なく取得し、それを自身の健康に活用するだけでなく、診断・治療（支援）、救急・救命（見守り）、商品開発、防災・地域活性化等に活用することで、より安全・安心な社会が到来すると予想します。

こうした社会の実現に向け、まずは、SDメモリーカード"miParu[®]"を活用し、スマホやセンサにより健康情報・データを負担なく取得、手で安全・安心に貯蓄（保存）し、時期を見て利用者本人の許諾により配付する習慣を広げることで、医療・ヘルスケア・介護の領域に浸透させます。

次に、貯蓄された個人情報の事業者やAI/BigData等での活用を支援する"健康情報通帳[®]"プラットフォームの普及・推進で、個人情報流通の活性化を目指します。

販路・人材・資金などのPR&募集情報

弊社提唱の"miParu[®]"並びに"健康情報通帳[®]"プラットフォームは、人の健康に関わる情報（生体・行動・環境等）だけでなく物（故障・維持・管理等）の健康に関わる情報。さらには、人と物の健康情報の相互作用等による価値創造等幅広い展開が期待できます。そのためには、センサからAI解析、行動変容（フィードバック）まで、End to Endの連携が必須です。多様な先端センサ、解析、サービスベンダ、医療・ヘルスケアをはじめメーカー・流通・サービス事業者・公共機関等健康情報活用を願う幅広い領域の皆様との連携・パートナーシップを希望します。



代表取締役 CEO

南 重信

ミナミシゲノブ

設立 2016年 11月 1日

社員数 3人 (2017年9月1日 現在)

資本金 900万円

業務内容

- センサにより取得したデータ・情報の処理、蓄積、解析、評価及び提供
- 次の商品、部品及び技術に関わる開発、製造、販売、管理及び支援
 - 第1項に関わるサービス及び製品
 - ハードウェア、ソフトウェア、コンピュータ関連機器及び情報処理システム、データベース、ネットワーク等
 - 医療又は健康回復・維持・増進を目的としたサービス及び製品
- 前各項に附帯関連する一切の業務

これまでの実績

ホームページ <http://miruws.com>

問合せアドレス info@miruws.com

電話番号

FAX番号

札幌産業振興センタースタートアッププロジェクトルーム